

指導改善を効果的・効率的に進める

「市町村・校内共有フォルダ」の設置と全校研究会の動画配信

C:教員間の情報共有

このような教員の姿が生まれました！

- 日常的に授業について、「こんな教材を作ってみた。」「他校でおもしろい授業提案があった。」という教員間の交流が増えました。

校内共有フォルダの活用

授業で使う問題提示のシミュレーションやヒントカードを共有フォルダに保存することによって、何度も活用ができる。

- ・全校研究会のために、時間をかけて作った問題提示資料やヒントカードを共有フォルダに保存する。
- ・他のクラスや学年で使用することができ、教材研究の時間の短縮につながる。



問題提示資料やヒントカードを作成する際のポイント

- 教科書に即した問題提示やヒントカードとする。
- 独自の問題や活動を仕組んだ場合は、指導案も保存し、教員間で共有できるようにする。

全校研究会を町内の学校に動画配信



動画配信により、他校の取組に具体的に触れることができる。

- ・授業動画配信を見ることによって、児童の反応や先生の語り掛ける様子、間や息遣いまで具体的に感じることができる。
- ・授業動画視聴は移動時間がかからないため、短時間で授業を見ることができる。
- ・動画を学習過程ごとに分けて配信しているため、自分の気になる場面を選んで見ることができる。
- ・自校の主題研の教科以外の実践についても学ぶことができる。
- ・他校の取組を知ることができるため、教材やヒントカード等を町内で共有することができる。

動画配信を行うポイント

- 日常的に動画配信ができるよう、機材の準備や視聴する部屋等を日頃から整備しておく。
- 肖像権保護のため、動画は町内職員のみ視聴できるように限定公開とする。
- 授業に限らず、町内における各部会等の会議にも積極的に活用していく。